

ウェブ版は画像にぼかし加工をしています。



OCHACHU SCHOOL GUIDE

2024



お茶の水女子大学附属中学校 2024年度 学校案内



OCHACHU SCHOOL GUIDE

2024

Contents

本校の目的・性格、沿革	3
教育課程、時程、制服	4,5
教育研究、お茶中生の探究活動を支える自主研究	6
お茶中が大切にしている3つのこと、附属校としての取り組み	7
教科紹介	
国語、社会、数学	8
理科、音楽、美術、保健体育	9
技術家庭、英語、総合、道徳	10
お茶中生の学び・進路選択を支える	11
帰国生徒教育学級	12,13
お茶中カレンダー	14,15
お茶中の部活動	16
進路状況	17
卒業生からのメッセージ	18,19



お茶の水女子大学 理学部化学科 教授
お茶の水女子大学附属中学校 校長
相川 京子

本校における教育と その目指すところ

お茶の水女子大学附属中学校は東京女子高等師範学校附属高等女学校から1947年に学制改革により分離独立し、男女共学の中学校として発足しました。以来、75年を超える歴史と伝統があり、多くの卒業生を社会に送り出してきました。本校では「自主自律の精神を持ち、広い視野に立って行動する生徒を育成する」ことを教育目標として教育活動を行っています。

本校は大学附属校であり、中等普通教育を行うほか、中学校教育の理論及び実際に関する実践的研究と学生の教育実習を行う学校です。そのために、本校教員とお茶の水女子大学教員とが積極的に連携しながら研究を進めています。また、幼児期から青年期までの教育を人間発達の視点から捉え、他の附属校園との連携研究も活発に行っています。また、新しい教育カリキュラムの開発や実践研究を進め、教育効果を評価することも求められていますので、本校では教員の発想のもとに創出された研究授業が頻繁に行われています。こうした教育活動を担う本校の教員は、教育に真摯に取り組む者であると共に専門性が高く、日本の中等教育において指導的な立場で活動する教員が多く集まっています。このような教員の指導のもとで、各教科および教科横断的な授業が実践されており、それらは先導的な教育方法の開発につながっています。また、生徒の学習手段としてICTの活用を積極的に行っており、多様なコミュニケーションの仕方を日々実践しながら、ICTのスキルを身につけることができる環境を提供しています。

主体的学びを実践する本校の特色ある教育の一つに「自主研究」があります。この活動では、生徒それぞれが自ら関心のある研究課題を見つけることから始まり、時間をかけて詳しく探究し、理解を深めます。研究の成果は口頭やポスターで発表を行います。こうした自主性や独自性を重視した活動を通じて、生徒たちが互いに切磋琢磨しつつ、他者の考えを理解し、共に助け合いながら

自己の個性や進路を見つめ、将来を切り拓く力を育成するように促しています。

本校では帰国生徒教育学級を設け、日本とは異なる社会や教育の経験を有する生徒の受入れを行っています。異なる背景をもつ生徒が同じ教室に集い、それぞれの考えや価値観を示し合い、共有することができる環境は、世界協力の重要性が強く認識されつつある昨今、そして今後一層グローバルに変動し、影響し合う社会を将来にわたり生きていく生徒に真の人間力を育むものと考えます。

本校で掲げる具体的な教育の柱の一つに、科学的・論理的思考力の育成があります。「科学する」とは、自然の現象について「なぜ」と問いをたて、理由やしきみを考え、証明することです。複数の仮説をたて、見えないところで起こっていることを多面的に想像し、わかっている事実と照らし合わせ、検証しながら考えを進めていきます。このような思考の道筋を社会的な課題の解決にも活用することは、個人の感情や経験に影響されにくい、合理的な結論を導くことにつながるでしょう。科学的・論理的思考力を養うことは、将来、困難な課題と向き合うことがあっても、臆せず解決策を見出す努力をし、積極的に未来を拓いていくための智恵を育むものであると考えます。

最後に、本校の校舎はお茶の水女子大学のキャンパス内の一角にあります。大学構内をコースとしたランニングフェスティバルを開催したり、生徒は文教育学部、生活科学部、理学部の研究室を訪問する機会があり、大学キャンパス全体が本校生徒の学びと活動の場であるといえます。この特色ある環境で、生徒ひとりひとりがのびやかに過ごし、それぞれに確かな成長を育む三年間を過ごせるよう、私たちは日々考えています。

お茶の水女子大学附属中学校 教育目標

自主自律の精神を持ち、 広い視野に立って行動する生徒を 育成する

本校は、お茶の水女子大学の附属中学校として、中等普通教育を行うほか、中学校教育の理論及び実際に関する研究と、学生の教育実習を行うことを目的としています。また、帰国生徒教育学級を併設しています。

教育の柱・研究の柱

自主的にものごとに取り組み、自分の考えを持ち、他者との協力関係を築くことのできる生徒を育成することを教育の柱としています。教育研究については、乳幼児期から青年期までの教育を人間発達の視点から捉えてカリキュラム開発を行い、各校園の連携のもとに実践・研究をすすめています。

附属中学校のこれまでの歩み

- 明治 8 (1875) 年 「御茶の水」に東京女子師範学校開校
- 明治 15 (1882) 年 東京女子師範学校附属高等女学校創設 (中学校の前身)
- 昭和 7 (1932) 年 現在地「文京区大塚」に移転
- 昭和 22 (1947) 年 東京女子高等師範学校附属中学校発足 (男女共学)
- 昭和 27 (1952) 年 お茶の水女子大学文教育学部附属中学校に改編
- 昭和 42 (1967) 年 創立 20 周年記念式典
- 昭和 52 (1977) 年 創立 30 周年記念式典
- 昭和 54 (1979) 年 帰国子女教育学級発足
- 昭和 55 (1980) 年 お茶の水女子大学附属中学校に改編
- 昭和 62 (1987) 年 創立 40 周年記念式典
- 平成 3 (1991) 年 体育館竣工
- 平成 9 (1997) 年 創立 50 周年記念式典
- 平成 19 (2007) 年 創立 60 周年記念式典
- 平成 20 (2008) 年 第一校舎改修工事完了
帰国子女教育学級 30 年の歩み公開研究会
- 平成 21 (2009) 年 文部科学省研究開発学校に指定される (23 年度まで)
- 平成 26 (2014) 年 第二校舎改修工事完了
文部科学省研究開発学校に指定される
(1 年延長して平成 30 年度まで)
- 平成 29 (2017) 年 創立 70 周年記念式典
- 平成 30 (2018) 年 帰国生徒教育学級 40 年の歩み公開研究会
- 令和 3 (2021) 年 公開研究協議会 (オンライン開催)
- 令和 4 (2022) 年 公開研究協議会 (ハイブリッド開催)



時程

- 8:20 朝礼
- 8:40~ 1~4時間目
- 12:30 昼食・昼休み
- 13:20~ 5~6時間目
- 15:15 終礼・清掃
- 15:40 部活動など (下校可)
- 16:50 最終下校

※火曜日の6時間目は週がわりで委員会や係活動を行います。
※土曜日は、月1回程度、学校行事や授業などで登校します。



昼食にはスマートミールの認証を受けたお弁当の注文が可能です。日替わりメニューでとても美味しいです。

教育課程

1週間あたりの授業時間数 (1単位時間は50分です。)

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技・家	英語	道徳	総合カリキュラム		計
											自主研究	給・特活	
1年	4	3	4	3	1.5	1.5	3	2	4	1	1	2	30
2年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	2	2	30
3年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	3	30

制服



制服は、A (学ラン+スラックス)、B (セーラー+スカート)、C (セーラー+スラックス) の3タイプから選べます。スラックスは2023年度に役員会生徒が中心となってデザインし、導入しました。



教育研究

自主自律の精神をもち、広い視野に立って行動する生徒を育成するという学校教育目標を柱として、お茶の水女子大学をはじめ、様々な研究機関や研究者と連携して常に最新の知見を取り入れた教育研究活動を行っています。また、教育と研究を通じて、個々の生徒の発達に寄り添いながら、中学生という変化の著しい時期の成長を支えています。本校での学びを基盤に、生涯にわたって自律的に学び続け、人格を磨き、よりよい社会の実現のために、自身のもつ力を広く社会で発揮できる人間を育成することを目標としています。

具体例としては、生徒の「自主研究」を対象とした教育研究、および帰国生徒教育研究があり、いずれも40年を超える歴史があります。情報活用教育も本校の特色の一つであり、全国に先がけた先進的な取り組みを続けています。また、各教科ではそれぞれの学問領域の専門性に基づいた教育研究を行っています。そのほか、学校全体で決めたテーマに基づいて研究活動を行うことも多く、文部科学省の研究開発学校の指定を受けることもあります。

これらのような長年の多岐にわたる研究の蓄積と、生徒とともに教師も学び、向上し続ける環境が、本校の財産であり、生徒の教育を支える大きな力となっています。



研究主題(2022年度—2025年度)

試行錯誤と創意工夫のある

『つくる学び』をつくる



◇ 研究主題の趣旨 ◇

研究主題にある「つくる学び」は創造的活動を、「試行錯誤と創意工夫」は創造的思考を指しています。創造的活動の中で生起する創造的思考を引き出す授業のありかたについて検討を進めています。

「つくる学びをつくる」という言葉は一風変わっていると思われるかもしれませんが、そこに授業をつくる主体は学習者であり教師でもある。ともに学びをつくる主体であるという思いを込めています。

お茶中生の探究活動を支える自主研究

「自主研究」とは、自分の興味・関心にもとづく課題を設定し、自分なりに方法を考え、試行錯誤して追究し、その成果を工夫して発表する、主体的な研究活動の時間です。本校では昭和53(1978)年から教育研究の一環として「自主研究」の時間を設けています。

1年生では自分の興味・関心を見つけ、探究の方法について学びます。2年生は、自分で設定した課題について、同じジャンル

のテーマを持つ先輩や顧問の先生のアドバイスを受けながら課題を追究し、ポスターを作って発表をします。3年生では2年生からの研究を完成させ、その成果を大学講堂での発表会や生徒祭で発表し、研究集録にまとめます。

このような活動を通し、課題を追究する力、学習意欲、論理的思考力の育成を目指します。

お茶中が大切にしている3つのこと

本校では、3年間で、多様なステージで活躍できる行動力のある人、様々な立場の人と問題意識や課題を共有できる懐の深い人へと大きく成長していくことを念頭に、以下の3つの柱に沿って教育活動を展開しています。

科学的・論理的思考力の育成



津波発生装置を用いて津波が生じるメカニズムを探る理科の授業。目で見て考えた後、スローモーションで撮影し、現象をさらに分析します。話し合いやレポート作成、プレゼンテーションを通して、社会に出てからも活かされる科学的・論理的思考力を育成します。

グローバルな視座の育成



英語科の分割授業やALTによる授業の他、グローバルキャンプやスプリングイングリッシュ、留学生との交流などの機会を積極的に取り入れています。多様な言語及び文化に触れてきた帰国生と共に学び合う機会がある点も特徴の一つです。

あたたかく深い人間力の育成



学校、学年、学級等、様々なつながりの中で、生徒が主体的に活動できる場を大切にしています。開かれた学校として社会とのつながりを意識し、生徒会ではボランティア活動や近隣の国立大学附属校を中心とした他校との交流なども行っています。

附属校としての取り組み

大学の附属校であることの利点を活かした様々な取り組みの一部をご紹介します。

留学生との交流



サマープログラム



卒業生に学ぶ



研究室訪問



大学との連携授業



附属校園内での交流



附属校園内での連携授業



大学構内での活動



1. お茶の水女子大学他、大学の留学生との交流授業 2. お茶の水女子大学の留学生に日本の文化を紹介するサマープログラム 3. 様々な業界で活躍する卒業生に学ぶ授業 4. お茶の水女子大学の研究室を訪れ、研究の現場に触れる研究室訪問 5. お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所やサイエンス&エデュケーション研究所と連携した理科の授業 6. 附属高校の生徒との交流(金融・経済学習コンテスト参加についてアドバイスをもらう) 7. 附属幼稚園と連携した家庭科の授業 8. 広い大学構内で行われる自然観察やフィールドワーク

お茶中生の声

探究が身近でなかった人も安心して取り組みます

お茶中の自主研究では、好きなこと、興味があることを納得のいくまで掘り下げることができます。私は城に興味があり、落城しない城を構想することをテーマに研究を行いました。「城」という分野はとてもマニアックで、語り合える人は学年に2、3人。しかし、15あるジャンルを覗くと、そんなマニアックなテーマで溢れています。研究の過程で大学の先生に相談することができる点も、附属校ならではの感があります。

1年生時からセミナーやゼミを受講し、2年生からの本格的な研究活動に向けて準備をしていきます。お茶中に入學するまで探究が身近でなかった方も、安心して臨んでください。探究のスキルは確実に身につくと思います。



2023年度 第3学年

Curriculum

教科紹介～これがお茶中の授業です～



感性を磨き、論理的に考え、表現し、
伝え合う言葉の力を育てる

国語科では、実生活に生きる豊かな言葉の力を身につけて欲しいと考え、他者と関わり協働する力、言葉で感じ想像する力、言葉で考える力、言葉を楽しむ感性などを育てていくことを大切にしています。

生徒達の主体的な活動と活発なコミュニケーションを基盤とした言語活動を通して、実際の社会の中で運用できる確かな言葉の力や思考力を育む授業作りに取り組んでいます。



写真集に添えた詩を ICT を活用して共有し発表し合う



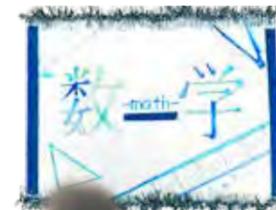
考え、表現し、行動する社会科

本校の社会科では、地理・歴史・公民の三分野を互いに関連付け、基礎学力の向上を図っています。また、話し合いや発表、専門家の方を招いた学習を取り入れ、社会の一員として広い視野を持ち、行動できる市民を育てることを目標としています。

知識や資料を活用して読み取ったことを結びつけて、多面的・多角的に問題を考察すること、広い視野に立って解決方法を考え、自分の意思を決定することを重視した授業に取り組んでいます。



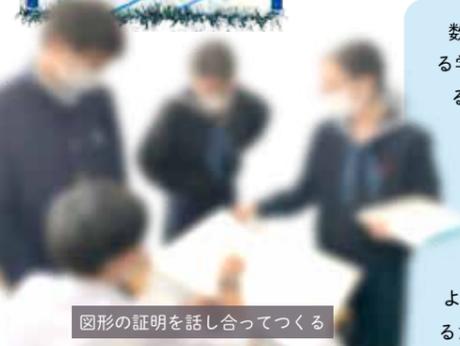
自分で集めた資料をもとに議論する



「なぜ？」を「なるほど！」と「もっと!!」につなげる数学

数学の授業は、単に問題を解くだけではありません。お茶中では、数学の問題を見つける学び、解決の方法を多様に考える学び、新たな見方や考え方を獲得する学びを目指しています。複数教員での学習支援やお茶大生による少人数補習、狭い範囲での小テストなども実施して基礎を固めています。宿題も充実しています。

それにより、お茶中生は、数学についての基礎的な概念の理解を深め、数学的な技能を習得し、知識・技能を活用して考え表現する力を高めています。数学のよさを実感することで、数学を進んで活用して考え続けるたくましい姿がたくさん見られます。



図形の証明を話し合っていく

社会の問題を統計的に解決する

お茶中生の声

話し合いも発表も、経験を積むことで自信ができました。

お茶中では、皆の前で意見を発表したりグループで話し合ったりする機会が多くあります。最近の授業では数学の統計の授業で気象データをもとに各自で分析を行い、スライドにまとめて発表したり、社会の授業で「豊かさ」についてお互いに意見交換し、考えを深めました。自主研究のように全員がポスターを作って発表することもあれば、限られた時間の中で即興で考えをまとめ、スピーチをすることもあります。最初は難しく感じましたが、経験を積むごとに自信がつかってきました。生徒会役員として関わったお茶中スラックスの導入でも、様々な意見を持った仲間と話し合いを繰り返し、皆にとってベストな方法を模索しました。仲間の意見に耳を傾けると、自分にはない視点に気付くことも多いです。お茶中は「仲間がいるからこそできる経験」を大切にしている学校だと思っています。



2023年度 第3学年

実験、観察中心の授業で
科学的探究心を磨き、思考力を鍛える



ゴーグルを着用して行う電気分解の実験

設備の整った2つの理科室をフル活用し、3年間で相当数の観察、実験を行い、実験レポートの作成技術や探究の姿勢を身に付けていきます。豊富な実験機材を利用して、個別実験や発展的な内容を含む観察・実験も数多く実施しています。お茶の水女子大学の理系女性育成啓発研究所やサイエンス&エデュケーション研究所との連携授業も多数実施しており、学習を深め、豊かな発想を育む先進的な実践を行っています。



モニター付き顕微鏡でウコの受精の瞬間を撮影

幅広く豊かな音楽観と創造的な表現

「(聴く・聞く) 耳と心」を研ぎ澄ませて音楽美を追究していきます。現在の旬な音楽からさまざまな時代・地域・ジャンルまで、多種多様な音楽に触れ、それぞれの魅力を味わい、幅広く豊かな音楽観が備わることを目指します。

毎年、演奏家を講師に招いての三味線ワークショップを実施し、1学年では40台のヴァイオリンを使った実技を中心に、ウクレレ、三線、箏といった弦楽器の演奏基礎を学習します。また、ICTを活用した鑑賞活動や創作活動、学年度末には音楽行事を行なっています。



毎年行っているバイオリンの授業

「気づく」、「感じる」、「伝える」を豊かに



美術を身近に感じながら、表現と鑑賞の活動に取り組む

スケッチやクロッキーを通し、目の前の形や色に「気づく力」を養いながら、木、石、金属、革などの様々な材料体験を通した幅広い表現の活動で、生徒たちの感性や創造力を育てます。

また、作品に込めた思いを伝えたり、相手が伝えようとしている思いを受けとめることのできる鑑賞の活動を、個人やグループワークなど様々な形で、「感じる力」「伝える力」を身につけていきます。美術作品や身近な友達の作品から、よさや美しさを感じとる心を育み、学習を通して豊かに感受する心を養っていきます。



わかる・できる・楽しい保健体育

保健体育科では、様々な運動の楽しさを心と体で丸ごと体験してほしいと考えています。体づくり運動をベースにして、球技・陸上・武道・ダンス・器械運動・水泳など、それぞれの領域の種目について、主体的・協動的に学習を深めていきます。また、それぞれの領域で自分なりの楽しみを見出し、主体的に表現し、交流する活動を大切にしています。保健では、様々な健康課題を自分事として捉え、グループで考えを共有し、これからの生活をよりよくする姿勢を育てます。



オリジナルの運動ゲームを開発する



絵カードを使ってわかりやすく説明



ソフトボールの作戦を立てる



力が入る場所を探して引き付けて投げ



サステイナブルライフを創造する

心豊かな生活の自立を目指し、情報・ものづくり・衣食住・家族家庭生活・消費環境などを学びます。実験や実習、作品製作を通して、知識やスキルだけでなく、エビデンスにもとづいた科学的思考力や応用力、ものや人を大切に考える姿勢や実生活で実践してみようという意欲につなげていくことを大切にしています。



ひと・こと・ものとのつながりのある学び

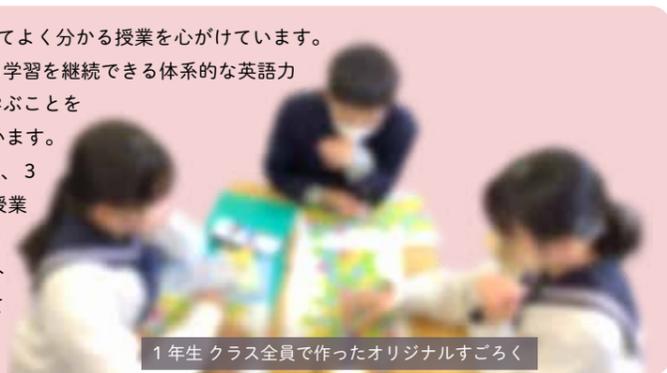


Let's Enjoy English!

~ Be Active, Be Positive ~

コミュニケーション能力を身につけることを目標として、楽しくてよく分かる授業を心がけています。「聞く・話す・読む・書く」の4技能の力を総合的に伸ばして、自ら学習を継続できる体系的な英語力を身につけることをゴールとしています。国際語としての英語を学ぶことを通じて、広く言語や文化に対する関心を高めることもねらいとしています。

ALT (Assistant Language Teacher) との授業、1, 2年分割授業、3年コース別授業、週1回のLL教室での授業、英語圏帰国生特別授業など、バラエティーに富んだ形態の授業を展開しています。基礎力定着のための小テストを数多く行っており、パフォーマンステストも実施しています。また、ICTを活用した言語活動にも力を入れています。



1年生 クラス全員で作ったオリジナルすごろく



総合 総合学習では、身近な出来事や現代社会の課題を見つけます。見つけた課題について、グループ活動を通じて創造的かつ協働的に問題解決を行い、社会に向けて提案していきます。このプロセスを通じて、より良い未来を切り開く力を身につけることを目指します。

(写真上) 学年ごとに行われるディベート大会では、社会的な課題を論題として取り上げ、本格的な論戦が繰り広げられます。(写真下) 多様性をテーマとした外部講師による実践的な授業も数多く行っています。仲間ひとりひとりの価値観や意見の違いを認め、その違いをチームの強みにする、そんな仲間づくりにつながることを願っています。



ディベート大会



外部講師による多様性をテーマとした授業

道徳 道徳の授業は常に考え、議論するアクティブな時間です。道徳的価値に根ざし、それに基づく人間としての生き方について自覚を深めていきます。自分ごととして捉え、行動する道徳的実践力を身につけることが目的です。

(写真) お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所と連携した道徳の授業。大学の野外教育施設周辺の海岸から採取した砂からプラスチックを採取し、学習を深めます。



海岸の砂からプラスチックを採取する

お茶中生の学び・進路選択を支える

ICTを活用した学びのサポート

本校は2019年度から本格的にChromebookを導入し、一人一台端末環境で先進的な取り組みを行っています。日々の授業においてもICTを活用し、個に応じた多彩な活動が展開されています。



放課後補習

希望者を対象にお茶の水女子大学の学生等による学習会を行っています。授業の内容で十分理解できなかったところを確認したり、定期テスト対策を行ったりします。

オンライン授業

やむを得ず学校を休む場合、オンラインで授業に参加できます。

生徒/保護者面談での情報共有

定期的に担任と生徒で面談を行います。保護者面談も長期休みを利用して全員に対して行います。



全員に対して行われる丁寧な進路指導

進路指導は早い時期から全員に対して行います。面談等の機会も活用し、納得できる進路選択ができるようサポートしていきます。様々な高校の先生方をお呼びし、高校生活についてのお話を聞く会も毎年開催しています。



キャリア教育

お茶中では、自主研究の課題発掘セミナーや、卒業生の話をお招きしたり、現場を訪問したりする授業を多数実施しています。お茶中のキャリア教育は、社会に開かれた学校として社会と学校をつなぐ役割を担いながら、将来を見据え、真剣に学ぶお茶中生をサポートしています。



情報モラルメディアリテラシーを育む教育

一人一台端末が大前提となる中、お茶中生一人一人がデジタルの特性を十分に理解し、自分の学習に積極的に役立てていけるよう、情報モラルやメディアリテラシーに関する授業を定期的に行っています。ICT活用においても自主自律を掲げ、生徒会組織が中心となって使い方を含め日々の運用をサポートしています。



お茶中は、生徒一人一人に活躍できる場があります

お茶中の男子の人数は女子の約半分です。こう聞くと「お茶中の男子はどんな日々を過ごしているんだろう」と疑問に思われるかもしれません。ご安心ください。豊かな自然、広いグラウンド、ピカピカとは言えないかもしれないけれど整備された学習環境のもと、男子も伸び伸びと中学校生活を送っています。高校への進路指導も早い段階から全員に対して行われるので、誰のものでも無い「自分の進路」に向き合い、体制を整えることができます。

私は帰国生としてお茶中に入学し、最初の宿泊行事「グローバルキャンプ」で企画運営を担当する役割に就きました。日本の学校でリーダーを経験するなんて想像もしていませんでしたが、あの時の経過がその後の日本での学校生活に自信を与えてくれたと感じています。自主自律が根付いたお茶中には、一般生、帰国生、男子、女子問わず、一人一人に活躍できる場があると感じています。3年間の大きな成長に期待して、是非お茶中へ!



2023年度 第3学年

帰国生徒教育学級

本校では、1979年に帰国生を対象とした「帰国子女教育学級（現在、帰国生徒教育学級）」を設置し、既に40年を越えました。その間、以下の学級の目的や教育方針を継続するとともに、異文化体験豊富な帰国生の特性伸長に努めています。

近年、帰国生の滞在国、滞在期間、背景などが多様化していることやグローバル教育が今日的なテーマとなっている現状もふまえ、「多文化共生」「個に応じた教育」の一層の推進を図るとともに、「協働的な課題解決を支える思考・判断・表現の力を育成する授業づくり」をテーマとした授業・カリキュラム開発に取り組んでいます。



帰国生徒教育学級の目的

海外から帰国した生徒のうち、その海外在住国と日本における教育の事情が異なるため特別な指導が必要であると認められた生徒に対し、日本の環境に適応するための指導並びにその研究を行うことを目的としています。

学級編成

1年生では帰国生だけの特設学級（15名定員）で過ごします。2年生からは一般生との混合学級になります。

1年生：1クラス特設学級（帰国生だけの竹組で過ごします）

2年生：2クラス混合学級（松・蘭・菊・梅組の全4クラスのうち、松・菊組の2クラスに分かれます）

3年生：4クラス混合学級（松・蘭・菊・梅組の全4クラスに分かれます）

なお、1年生のときから、学校・学年行事、生徒会活動、部活動など学校生活全般は、一般生と一緒にいきます。



日々の学習・生活から進路選択まで充実したサポート体制

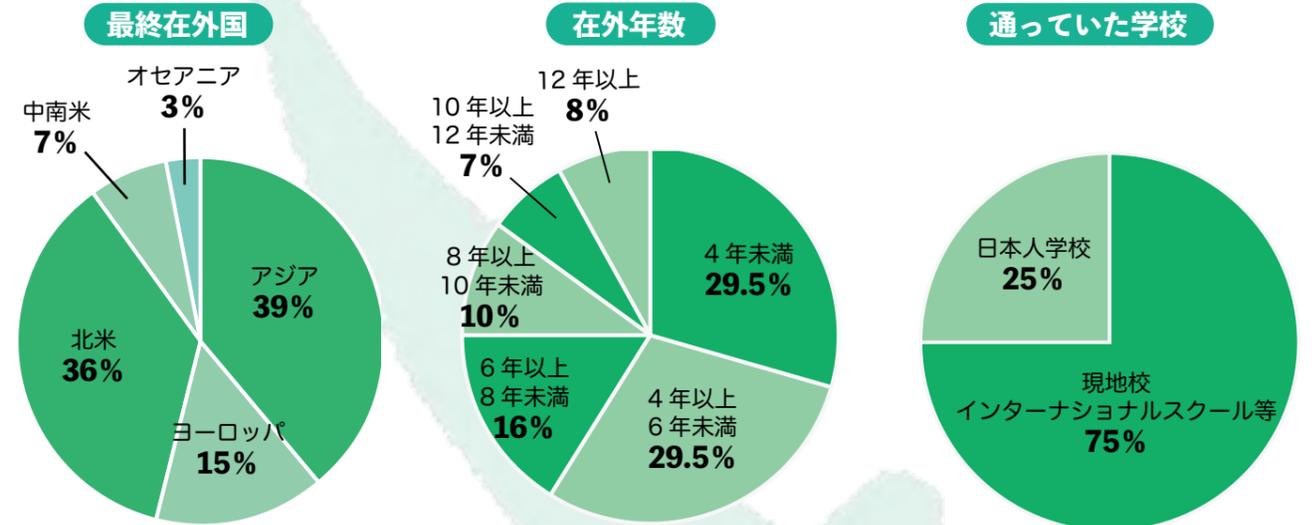
1. 少人数での丁寧な学習指導と、全教科でとられているチームティーチング（2～3名の教員による支援）体制
2. 学期ごとに発行される竹組学習連絡簿による学習アドバイス
3. 帰国生だけの補習の時間を確保
4. 帰国生同士の縦のつながり、一般生との交流
5. 英語圏からの帰国生に対応した英語の授業（毎年、英語圏からの帰国生の多くが、一般生とは別の授業を希望し、受講しています。）



ウェブ版は画像にぼかし加工をしています。

データで見る帰国生徒教育学級

過去5年間の受け入れ状況



帰国生の過去5年間の進学先

【国立】	【都立・県立】	【私立】			
お茶の水女子大学附属	北園	足立学園	國學院	成蹊	広尾学園小石川
筑波大学附属	国際	郁文館グローバル	国際基督教大学	中央大学杉並	富士見丘
筑波大学附属駒場	竹早	大宮開成	桜丘	東京成徳大学	武蔵野大学
明石工業高等専門学校	白鷗	慶應義塾志木	実践学園	東洋大学京北	早稲田大学高等学院
	兵庫県立神戸	慶應義塾湘南藤沢	淑徳巣鴨	豊島岡女子	早稲田大学本庄高等学院
		慶應義塾ニューヨーク	順天	広尾学園	New International School of Japan
					海外の高校

帰国生インタビュー

卒業生から見た お茶中の帰国生徒教育学級

Q 竹組での思い出は？何か困ったことはありませんでしたか？

A 9月編入であったため、学校に馴染めるか不安でした。でも、学校の和やかな雰囲気や協働して行う様々な活動のおかげで、すぐに学校生活に馴染むことができました。また、生活面や国語・数学を中心とした学習面でのサポートが手厚く、竹組の間に一般生とともに学ぶ素地を少しずつ育むことができましたと思います。

Q 1年生の間は一般生と別のクラスとのことですが、一般生とも交流があるのでしょうか？

A 当初から一般生もとてもフレンドリーで、授業や部活動、委員会活動などを通してたくさんの新しい仲間と出会うことができました。その中で2年生混合クラスへの進級であったため、不安もなく、心強い門出でした。お茶中は学校行事などのイベントも多く、それらがクラスに馴染むきっかけにもなり、充実した学生生活を与えてくれたと思います。

Q お茶中の帰国生徒教育学級で培ったもので、今も役立っているものは？

A 1つ目は、学力の伸びであると感じています。特に苦手意識のあった漢字と数学は、毎日個別にノートの確認をして下さるなど、温かい先生方に恵まれた環境であったと実感しています。2つ目は係活動や委員会活動を通して学んだ社会性や役割に対する責任感です。自主自律のお茶中には、帰国生も含め生徒のチャレンジを応援してくれる雰囲気があります。そんな環境であったからこそ、自信を持って様々な活動に取り組み、多くのことを学べたと感じています。



2018年卒業
萩野 穂高さん

東京外国語大学
国際社会学部 国際社会学科
中東地域・アラビア語専攻

お茶中カレンダー

4月



入学式

「毎月何か、イベントがある」
そんなお茶中の1年をご紹介します。
年度によって多少時期がずれる
行事もあります。

6月



3年宿泊(修学旅行)



2年宿泊(林間学校)

5月

生徒総会では、役員会、
部、委員会の活動方針
も議題となります。全
お茶中生に関わる大切
な場です。

1年宿泊(グローバルキャンプ)



1年生の6月にあるグローバル
キャンプは友達が増える絶好の機
会です。一般学級、帰国生徒教育
学級、皆で一緒に盛り上がります。

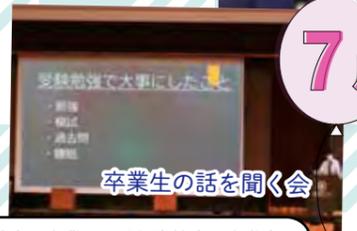


生徒総会

お茶中の体育大会は広さが自慢の大学
グラウンドで行われます。クラスごとに
縦割りで団がつくれ、3年生がリー
ダーシップを発揮します。応援ダンス
は各団の個性が光ります。

体育大会

7月



卒業生の話聞く会

お茶中を卒業した現役高校生や大学生の
お話は、勉強方法や自分の進路を選
択する上でも大変参考になります。



左の4つの旗は、体育大会を盛り上げる団旗で
す。上の写真は作業のようすです。1年生から
3年生の担当メンバーで協力し、デザインから
ベースとなる生地まで自分たちで作ります。



お茶中の声

アオハルな中学校生活を送るなら、お茶中が1番です！



2023年度 第3学年

お茶中ではどの行事も、生徒が自ら計画を立て、創り上げていきます。この「創り上げる」作業に関わるのは、リーダーや長の生徒だけではありません。全お茶中生が関わるのです。私は昨年度、生徒祭の実行委員長を務めました。テーマ決めの段階から皆で意見を出し合い、各チームの予算や展示内容を考えていきました。このように書いてしまうと、すごく大変なのかな？と思われるかもしれませんが、考えを皆でかたちにしていくなかでワクワク感を全力で味わい、将来につながる貴重な経験ができたと思っています。生徒祭ほどの大きな行事であれば、解決しなくてはならない問題もたくさん生じます。大変なこともあったけれど、乗り越えられたのは1人ではなかったからです。

最高にアオハルな中学校生活を体験するならお茶中が1番です！

9月

自主研究講堂発表では、各グループの代表者が全校生徒の前で発表を行います。

自主研究講堂発表



生徒祭 中庭での公演風景

生徒祭 吹奏楽部公演

生徒祭 クラス企画

生徒会活動のさかんなお茶中では、生徒会選挙も大切な行事の一つです。ここ数年は、投票もオンラインで行っています。

生徒会選挙

10月

自主研究 ラウンドテーブル

生徒祭 ダンス部公演

少人数のグループで行われるラウンドテーブルは、3年生にとって自主研究最後の発表の場であり、振り返りの機会にもなります。1, 2年生からテーマ設定や研究の進め方について、質問を受けることも多いです。

11月

研究室訪問

お茶中の研究室を訪問する研究室訪問は、お茶中に数ある大学の附属校ならではの取り組みの一つです。毎年大学の先生方が多数協力していただきます。

12月

ランニングフェスティバル

ランニングフェスティバルでは、1年生から3年生まで一緒に、広い大学構内を走ります。

1月

課題発掘セミナーは、これから自主研究が本格的に始まる1年生を対象に、様々な業界や分野で活躍されている方をお呼びし、少人数でのゼミのようなかたちで行われます。お茶中卒業生が来校されることも多く、毎年バリエーション豊かなセミナーが開催されます。

課題発掘セミナー

2月

自主研究 ポスター発表

自主研究ポスター発表では、2年生全員がそれまでの研究の成果を発表します。毎年他学年も参観に訪れ、活気に満ちた会場で、個性が光る発表を多数見ることができます。

音楽行事は、年度の最後に最高に盛り上がる行事です。どのクラスも練習を重ねて本番に臨みます。

音楽行事

3月

歓送会

卒業式 スプリングイングリッシュ

この他、芸能鑑賞教室や部・委員会が主催する様々な企画、イベントが年間を通して多数行われています。

お茶中の部活動

現在、7つの運動部と4つの文化部が活動を行っています。



文化創造部



サッカー部



卓球部



バスケットボール部



吹奏楽部



バレーボール部



硬式テニス部



バドミントン部



ダンス部



科学部



ウェブ版は画像にぼかし加工をしています。

進路状況

1. 本校の進路指導・進学状況全般について

女子の多くは隣接する附属高校に進学します。また音楽科や美術科など専門性の高い高校や共学高校等、女子の選択肢も幅広くあります。男子に関しても同様に様々な進路があります。中学1・2年生から進路・進学学習を行い、ご家庭と連携しながらより良い進路選択を支援しています。

2. お茶の水女子大学附属高校

自分の望む高校生活や将来の進路の実現のため、附属高校を進学先の一つとして考え、受験し進学している生徒が多くいます。基礎的な学力とそれを活用する力が問われ、普段の授業を大切にしていく必要があります。

3. 都立・県立高校

都立、県立受験は、ここ数年検定方法等が改定されているため、情報を早めに掴んでおかなければなりません。希望の高校への学校見学や説明会などに積極的に参加し、学校の特色を理解し学校選択をしていく生徒が増えています。

4. 私立高校

一般受験の場合、学校の特色等をしっかり捉え、本人にあった進路を選択できるよう支援しています。推薦制度には様々な呼び方や選抜方法があり、学校説明会や相談会・見学会等へ参加し、各学校の情報をしっかりと集め、確実な進路選択ができるよう促しております。指定校推薦として早稲田系列や中央大学系列等、数校から推薦枠を頂いております。

令和6年度高校入試合格一覧（令和5年度卒業生）

	高等学校名			高等学校名			高等学校名		
	男子	女子		男子	女子		男子	女子	
国立	お茶の水女子大学附属高等学校	1	58	慶應義塾高等学校	1	1	東京音楽大学付属高等学校	1	0
	筑波大学附属高等学校	2	0	慶應義塾志木高等学校	2	1	東京学館浦安高等学校	1	0
	東京工業大学附属科学技術高等学校	2	0	国学院高等学校	2	3	東京成徳大学高等学校	2	3
	秋田工業高等専門学校	1	0	国際基督教大学高等学校	1	0	東洋大学京北高等学校	0	1
	沼津工業高等専門学校	1	0	駒場学園高等学校	1	0	豊島学院高等学校	0	1
	東京都立青山高等学校	0	2	桜丘高等学校	3	2	日本大学豊山高等学校	1	1
	東京都立産業技術高等専門学校	1	0	品川翔英高等学校	1	0	広尾学園高等学校	0	1
	東京都立総合芸術高等学校	0	1	芝国際高等学校	1	0	富士見丘高等学校	1	1
公立	東京都立戸山高等学校	0	1	私淑徳高等学校	0	1	文化学園大学杉並高等学校	2	0
	東京都立西高等学校	0	1	私淑徳巣鴨高等学校	2	0	宝仙学園高等学校共学部理数インター	1	1
	東京都立広尾高等学校	0	1	私順天高等学校	1	2	武蔵野大学高等学校	0	1
	青山学院高等部	0	1	女子美術大学付属高等学校	1	1	明治大学付属中野高等学校	1	1
	足立学園高等学校	2	1	駿台学園高等学校	1	0	明星高等学校	0	1
	郁文館高等学校	1	0	成蹊高等学校	1	0	目黒学院高等学校	2	0
	浦和学院高等学校	1	0	成城学園高等学校	0	1	立教新座高等学校	2	1
	江戸川取手高等学校	0	1	正則高等学校	1	0	早稲田佐賀高等学校	1	0
私立	大宮開成高等学校	0	1	大成高等学校	0	1	早稲田大学本庄高等学院	2	0
	かえつ有明高等学校	0	1	中央大学杉並高等学校	0	1	海外Busan Foreign School	0	1
	神山まると高等専門学校	1	0						

卒業生からのメッセージ



杉山 真也さん

TBS テレビ 総合編成本部 アナウンスセンター

お茶中で過ごした3年間は、私の人生の原点です。

卒業して約25年経ちますが、不思議なもので未だに当時の風景・音・香りなどが鮮明に思い出されます。五感で当時の瞬間を覚えている、よくわからないけれど身体に染みついちやっている感じ、それほど濃厚な日々でした。

授業や休み時間ももちろん、授業よりも力を入れて皆で準備した体育大会、生徒祭、合唱コンクールなどの行事、部活動や委員会。近くでサポートして下さる先生方に最高の仲間達。

この素晴らしい環境での日々が「お茶中らしさ」を育んでいくのだと思います。同級生達も「お茶中らしさ」をベースに自分の道を突き進み、個性を輝かせ各々のステージで

輝いています。

当時は面白かったTV番組の感想をよく話していました。今はアナウンサーとして番組をお伝えする側になりました。

友人が入るからという理由で私も野球部を選びました。今も部活の仲間と草野球チームを続けていて、気付いたら200試合も一緒にプレーしていました。

自主自律の精神。放送に向けての能動的な下準備の根幹になっています。

これからお茶中で過ごせる皆さんが羨ましい！

この3年間に、人生の種となる素敵な出会いが待っているとと思います。



森下 瑠里花さん

日本マイクロソフト株式会社・東京大学大学院学際情報学府 修士課程

お茶中での3年間は、科学的思考と探究心、周囲と協働する力を養うことができた、かけがえのない日々でした。

お茶中で毎週楽しみにしていた自主研究の時間では、当時スマートフォンが普及し始めていたことをきっかけにして、情報通信技術の浸透・発展について探究しました。大学の研究室を訪れたり、同じ理科グループに所属するメンバーで助言を送り合ったりしながら、研究を深めました。学校説明会の日に大学講堂で研究成果を発表する機会も頂戴しました。自主研究を通じて、楽しく活動しながら科学する経験を積むことができました。

私は学校生活の中でますます探究活動に時間をかけたいと思うようになり、お茶中卒業後に進学したお茶高では高

大連携特別教育プログラムに参加し、大学の授業を先取りして知見を深めました。その後、お茶大に進み、アメリカの大学へ半期の交換留学をする機会に恵まれ、その経験が今の仕事につながっています。

現在の私は会社員として企業のデジタル活用を支援しながら、大学院生としてデジタル化によって取り残されてしまう人々を少なくするための研究もしています。お茶中生だった頃と同じように、社会のデジタル化に関心があり、お茶中時代に培った探究心は、自分の根幹を形成しているように思います。今後も自分の興味を原動力に、社会への貢献につながる探究を続けていきたいと考えています。



楓 真紀子さん

かえで法律事務所 弁護士（第一東京弁護士会所属）

私は、中学からお茶の水に入学し、お茶の水女子大学附属高校を経て、中央大学法学部に入学し、その後、司法試験を経て、弁護士になりました。現在は、西新宿に事務所を構え、離婚や相続などの家庭問題や労働問題など、女性を取り巻く法律問題に積極的に取り組んでおります。

さて、お茶中のよいところはいろいろありますが、一番の魅力は、生徒の自主性を尊重し、先生方が、生徒の可能性を信じ、見守り、応援してくれるところです。生徒が中心となって企画運営する生徒祭は、どのクラスの出し物も魅力的で面白く、後夜祭のバンド演奏なども生徒が主体となって大いに盛り上がりました。その当時の光景は、かけ

がえのない思い出として、今でも心に残っています。

お茶中には、自分の好きなことをとことん追求し、それを応援してくれる環境があります。お茶中の卒業生は、それぞれ得意なことを生かして、いろいろな分野で活躍している仲間が多く、その多様性には驚くばかりです。

私は弁護士として、依頼者の人生観やその方が何を望むかを最大限尊重し、最善と思われる解決方法を柔軟に考え、行動することが大切だと考えていますが、それは、様々な価値観を認め合い、主体的に物事を考え、理想に向かって努力することを応援してくれるお茶の水の校風により培われたのだと確信しております。



秋山 度さん

日本放送協会 報道局 科学・文化部

中学生の私に会ったら「報道記者なんて」と驚く顔が浮かびます。記者になって約10年、ノーベル賞など話題の人物取材する機会にも恵まれましたが、中学時代は、感性豊かな同級生と比べると流行り廃りに疎いマイペースな生徒でした。もし5歳児が見たら「ポーっと生きてんじゃねーよ！」と言われたでしょう。

しかし、そんな私でも記者として今やっていけるのは、お茶中で多様な価値観を持つ同級生に出会えたこと、そして探究する楽しさを教えてもらったからこそです。

記者の仕事は千差万別なので、あくまで私個人の考えですが、日々の取材は「なぜ」を突き詰めていく作業です。「な

ぜ被害はなくなるのか」など自分なりに疑問を設定し、取材対象と向き合っていくことが問われます。時には、多数意見や教科書であっても疑問を持つ必要があります。何事も疑うのは疲れると思われるかもしれませんが、記者をしていると「なぜ」に応じてくれる人が必ず現れるもので、この偶然の出会いが新たな「なぜ」を生み出し、新事実や課題解決などに繋がっていくことがあります。これが楽しい！！

各分野で活躍されている先輩は多いので、今後は後輩との出会いも楽しみにしています。

INFORMATION

オープンスクール

お茶中生がガイドする校舎見学ツアー

2024年7月20日(土)開催

生徒祭

2024年9月21日(土)、22日(日)開催

学校説明会(対面・録画配信)

2024年10月19日(土)

2024年11月2日(土)

いずれも大学講堂にて対面開催

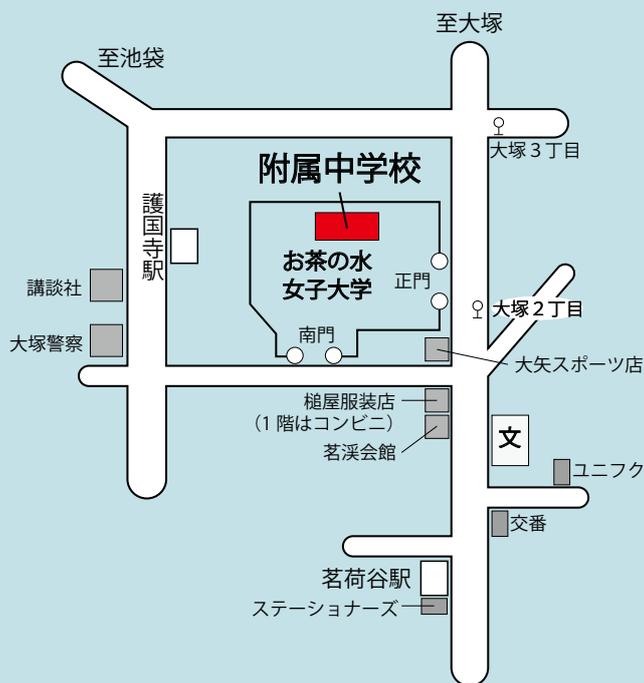
2024年11月録画配信実施

いずれも事前申込が必要です。

詳細は決まり次第、本校ウェブサイトに掲載します。

ウェブ版は画像にぼかし加工をしています。

学校案内図



◆交通案内

地下鉄 丸ノ内線 茗荷谷駅より7分

有楽町線 護国寺駅より13分

バス 都バス 大塚2丁目より徒歩1分

(都02系統 大塚駅～錦糸町駅、

都02乙系統 池袋駅東口～

東京ドームシティ)

大塚3丁目より徒歩3分

(上58系統 早稲田～上野松坂屋)



8～10ページの教科のパネルは文化創造部が作成したものです。



国立大学法人

お茶の水女子大学附属中学校

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

Tel 03-5978-5862

Fax 03-5978-5863

<https://www.fz.ocha.ac.jp/ft/>

